

さいたま赤十字病院での 外来化学療法への取り組み ～連携充実加算を始めて～

さいたま赤十字病院 薬剤部

外来がん治療認定薬剤師 後藤孝之

さいたま地域連携Network抗がん剤合同（オンライン）勉強会

2020/9/8

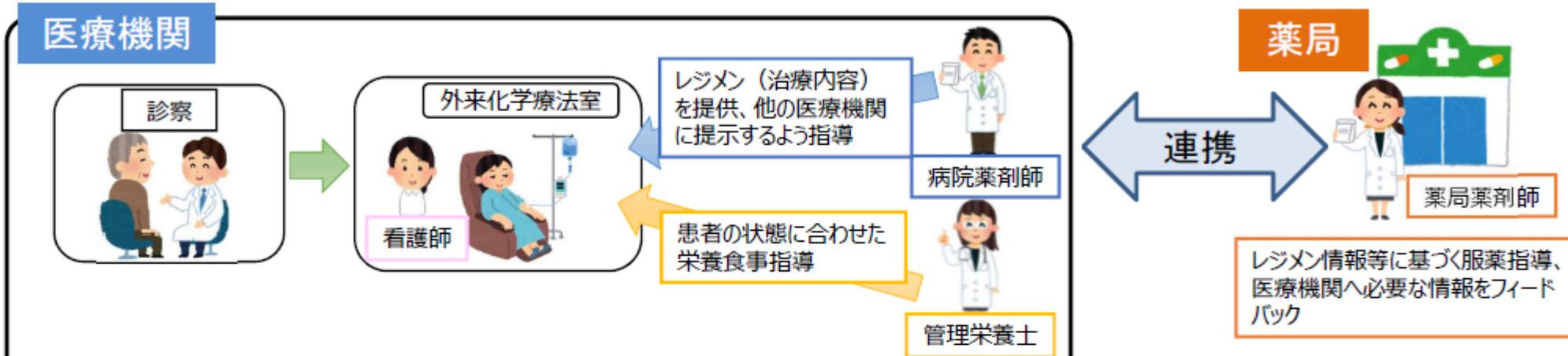
抗がん剤治療情報提供書				
ID 000000000	患者氏名 日赤良子	2020年7月6日		
① 実施しているレジメ(レジメ登録 No レジメ名)				
レジメ登録 No 033-3 EC療法				
② レジメの実施状況				
2コース目 (4コース予定 ジェラスタ併用)				
③ 抗悪性腫瘍薬等の投与量				
体表面積 1.5 m ² エピドキシロン 135 mg シクロホスファミド 900 mg				
④ 前コースでの主な有害事象(副作用)の発現状況(CTCAE v5.0):該当する箇所を■チェックされます。 血液・生化学検査結果は処方せんを参照してください。				
有害事象	該当なし	グレード1	グレード2	グレード3
悪心(吐き気)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 食事に影響のない食飲低下がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 明らかな体重減少(1kg程度以上)や脱水はない。食飲は減少する。	<input type="checkbox"/> 食量や飲水量が十分でない。入院して点滴治療等が必要である。
嘔吐	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 症状が軽微、経過をみる事が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 外来での点滴治療や内服治療が必要である。	<input type="checkbox"/> 入院して点滴治療等が必要である。
口腔粘膜炎(口内炎)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 症状が軽微、経過をみる事が可能である。	<input type="checkbox"/> 痛みや潰瘍がある。食事内容は症状に合わせて必要である。食事は制限される。	<input type="checkbox"/> 痛みがあり、食事が取れない。
味覚異常	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 食量の減少しない味覚変化がある。	<input type="checkbox"/> 不快な味や味覚がなくなる等の食事に影響する味覚変化がある。	<input checked="" type="checkbox"/>
便秘	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 排便回数に比べて排便回数が1日3回の範囲内で増える。	<input type="checkbox"/> 排便回数に比べて排便回数が1日4-6回増える。日常生活に影響は少ない。	<input type="checkbox"/> 排便する必要があり、日常生活に影響がある。
下痢	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 排便回数に比べて排便回数が1日3回の範囲内で増える。	<input type="checkbox"/> 排便回数に比べて排便回数が1日4-6回増える。日常生活に影響は少ない。	<input type="checkbox"/> 排便回数に比べて排便回数が1日7回以上に増える。日常生活に影響がある。
倦怠感	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 軽い倦怠感がある。	<input type="checkbox"/> 中程度の倦怠感があるが、日常生活に影響は少ない。	<input type="checkbox"/> 強い倦怠感があり、日常生活に影響がある。
関節痛	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 軽い痛みがある。	<input type="checkbox"/> 中程度の痛みがあるが、日常生活に影響は少ない。	<input type="checkbox"/> 強い痛みがあり、日常生活に影響がある。
筋肉痛	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 軽い痛みがある。	<input type="checkbox"/> 中程度の痛みがあるが、日常生活に影響は少ない。	<input type="checkbox"/> 強い痛みがあり、日常生活に影響がある。
末梢性感覚ニューロパシー(手足のしびれ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 軽い症状がある。日常生活に影響はない。	<input type="checkbox"/> 中程度の症状があるが、日常生活に影響は少ない。	<input type="checkbox"/> 強い症状があり、日常生活に影響がある。
有害事象のグレード3、症状が早いグレード2に該当する場合はSBRの判定が厳しく場合は医療へ連絡してください。				
⑤ その他 医学・薬学的管理に必要な事項				
グレード2の嘔吐が1日あったため、本日観察から制吐剤としてオンザピン5mg錠が追加されています。嘔吐が出る事があります。				
* 院内薬剤師薬剤師のケア、上野の研修生・研修員、処方箋・検査結果にご協力ください。 利用方法は 施設ホームページ内の地域連携推進→第一薬連携→抗がん剤治療情報提供書受け取られ院内薬剤師の方へへあります。				
さいたま赤十字病院 薬剤部 日赤良子 印				

COI開示

演題発表に関連し、発表者に
開示すべきCOI関係にある企業な
どはありません。

当院では7/20から連携充実加算を算定しています。

外来がん化学療法の質向上のための総合的な取組



質の高い外来がん化学療法の評価

(新) 連携充実加算 150点(月1回)

- 患者にレジメン(治療内容)を提供し、患者の状態を踏まえた必要な指導を行うとともに、地域の薬局薬剤師を対象とした研修会の実施等の連携体制を整備している場合の評価を新設。

外来栄養食事指導料の評価の見直し

- 外来化学療法の患者は、副作用による体調不良等により、栄養食事指導を計画的に実施することができないことから、患者個々の状況に合わせたきめ細やかな栄養管理が継続的に実施できるよう、**外来栄養食事指導料について、要件を見直す。**

薬局でのレジメンを活用した薬学的管理等の評価

(新) 特定薬剤管理指導加算2 100点(月1回)

以下の取組を評価

- 患者のレジメン等を把握した上で必要な服薬指導を実施
- 次回の診療時までの患者の状況を確認し、その結果を医療機関に情報提供

薬局における対人業務の評価の充実 ②

がん患者に対する薬局での薬学的管理等の評価

- 薬局が患者のレジメン(治療内容)等を把握した上で必要な服薬指導を行い、次回の診療時までの患者の状況を確認し、その結果を医療機関に情報提供した場合について新たな評価を行う。

(新) 薬剤服用歴管理指導料 特定薬剤管理指導加算2 100点(月1回まで)

[対象患者]

連携充実加算を届け出ている保険医療機関で抗悪性腫瘍剤を注射された患者であって、当該保険薬局で抗悪性腫瘍剤や制吐剤等の支持療法に係る薬剤の調剤を受ける患者

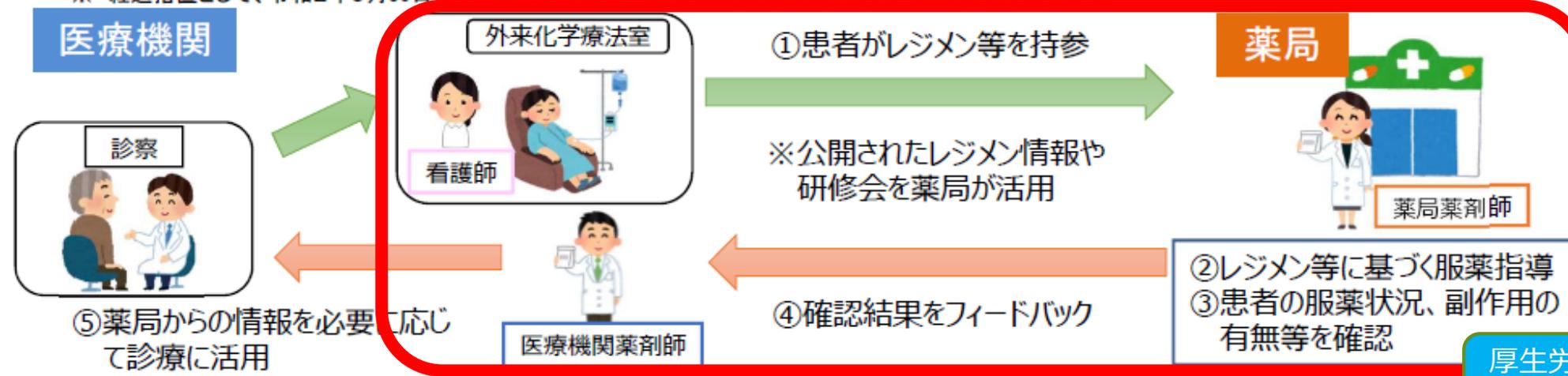
[算定要件]

①レジメン(治療内容)等を確認し、必要な薬学的管理及び指導を行うとともに、②電話等により、抗悪性腫瘍剤及び制吐剤等の支持療法に係る薬剤に関し、服用状況や副作用の有無等を患者等に確認し、③その結果を踏まえ、当該保険医療機関に必要な情報を文書により提供した場合に算定する。

[施設基準]

- (1) パーテーション等で区切られた独立したカウンターを有するなど、患者のプライバシーに配慮していること。
- (2) 保険医療機関が実施する抗悪性腫瘍剤の化学療法に係る研修会に年1回以上参加していること。

※ 経過措置として、令和2年9月30日までの間は、研修会への参加の基準は満たしているものとして取り扱う。



薬局における対人業務の評価の充実 ②

がん患者に対する薬局での薬学的管理等の評価

- 薬局が患者のレジメン(治療内容)等を把握した上で必要な服薬指導を行い、次回の診療時までの患者の状況を確認し、その結果を医療機関に情報提供した場合について新たな評価を行う。

(新) 薬剤服用歴管理指導料 特定薬剤管理指導加算2 100点(月1回まで)

[対象患者]

連携充実加算を届け出ている保険医療機関で抗悪性腫瘍剤を注射された患者であって、当該保険薬局で抗悪性腫瘍剤や制吐剤等の支持療法に係る薬剤の調剤を受ける患者

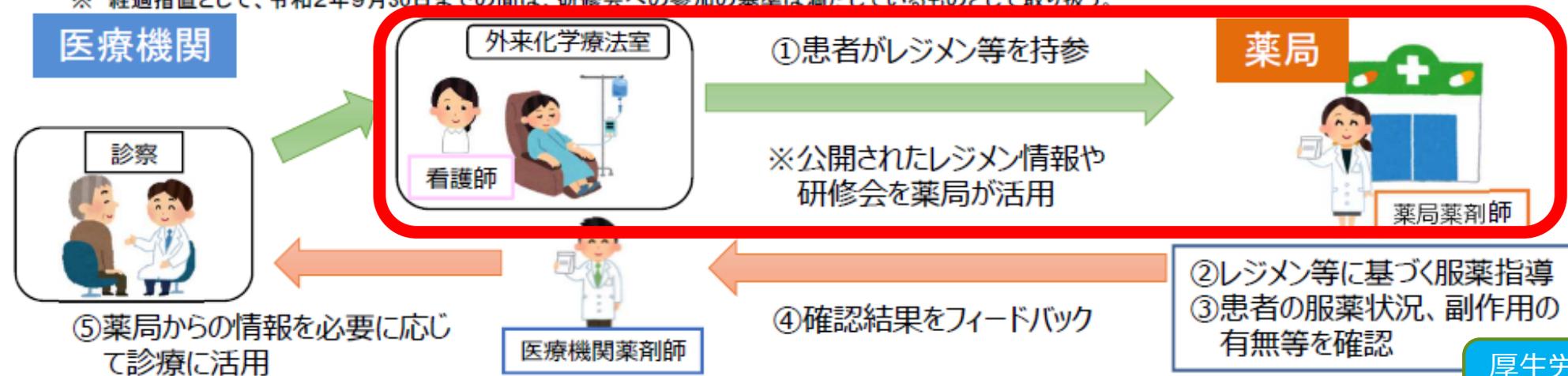
[算定要件]

①レジメン(治療内容)等を確認し、必要な薬学的管理及び指導を行うとともに、②電話等により、抗悪性腫瘍剤及び制吐剤等の支持療法に係る薬剤に関し、服用状況や副作用の有無等を患者等に確認し、③その結果を踏まえ、当該保険医療機関に必要な情報を文書により提供した場合に算定する。

[施設基準]

- (1) パーテーション等で区切られた独立したカウンターを有するなど、患者のプライバシーに配慮していること。
- (2) 保険医療機関が実施する抗悪性腫瘍剤の化学療法に係る研修会に年1回以上参加していること。

※ 経過措置として、令和2年9月30日までの間は、研修会への参加の基準は満たしているものとして取り扱う。



抗がん剤治療情報提供書

ID 0000000000 患者氏名 日赤良子 2020年7月6日

① 実施しているレジメ(レジメ登録No レジメ名)
 レジメ登録No 033-3 EC療法

② レジメの実施状況
 2コース目 (4コース予定 ジーラスタ併用)

③ 抗悪性腫瘍薬等の投与量
 体表面積 1.5 m²→エピルピシン 135 mg シクロホスファミド 900 mg

④前コースでの主な有害事象(副作用)の発現状況(CTCAE v5.0);該当する箇所に■チェックされます。
 血液・生化学検査結果は処方せんを参照してください。

有害事象	該当なし	グレード1	グレード2	グレード3
悪心(吐き気)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 食事に影響のない食欲低下がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 明らかな体重減少(1kg程度以上)や脱水はない。食事は減少する。	<input type="checkbox"/> 食量や飲水量が十分でない。入院して点滴治療等が必要である。
嘔吐	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 症状が軽く、経過をみる必要はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 外来での点滴治療や内服が必要である。	<input type="checkbox"/> 入院して点滴治療等が必要である。

抗がん剤治療情報提供書：
 ①～⑤の項目に分かれています。
 2枚（患者用、薬局用）渡しています。

		日常生活に影響は少ない。	生活に影響がある。
関節痛	<input checked="" type="checkbox"/> 軽い痛みがある。	<input type="checkbox"/> 中程度の痛みがあるが、日常生活に影響は少ない。	<input type="checkbox"/> 強い痛みがあり、日常生活に影響がある。
筋肉痛	<input checked="" type="checkbox"/> 軽い痛みがある。	<input type="checkbox"/> 中程度の痛みがあるが、日常生活に影響は少ない。	<input type="checkbox"/> 強い痛みがあり、日常生活に影響がある。
末梢性感覚ニューロパチー(手足のしびれ)	<input checked="" type="checkbox"/> 軽い症状がある。日常生活に影響がない。	<input type="checkbox"/> 中程度の症状があるが、日常生活に影響は少ない。	<input type="checkbox"/> 強い症状があり、日常生活に影響がある。

今後上記のグレード3、症状が辛いグレード2に該当する場合や38度の発熱が続く場合は医師へ連絡してください。

④ その他 医学・薬学的管理上必要な事項
 グレード2の嘔吐が1日あったため、本日眠前から制吐剤としてオランザピン5mg錠が追加されています。眠気が出る事があります。

* 院外調剤薬局薬剤師の方へ 上記の内容をご確認の上、処方鑑査・服薬指導にご活用ください。
 利用方法は当院ホームページ内の地域医療連携⇒薬-薬連携⇒抗がん剤治療情報提供書を受け取られた院外調剤薬局の方々にあります。

抗がん剤治療情報提供書の利用①

①実施しているレジメ（レジメ登録No レジメ名）

レジメ登録No 033-3 EC療法

レジメは当院ホームページ⇒
薬薬連携⇒『抗がん剤治療情報提供書を受け取られた院外調剤薬局の方々へ』にあります。

②レジメの実施状況

2コース目

今回のレジメのコースが記載されます。

③抗悪性腫瘍薬等の投与量

体表面積 1.5m²⇒エピルビシン135mg シクロホスファミド900mg

抗がん剤治療情報提供書の利用②

④ 前コースでの主な有害事象（副作用）の発現状況（CTCAE v5.0）

有害事象	該当なし	グレード1	グレード2	グレード3
悪心（吐き気）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 食事量に影響のない食欲低下がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 明らかな体重減少（1kg程度以上）や脱水はない。食事量は減少する。	<input type="checkbox"/> 食事量や飲水量が十分でない。入院して点滴治療等が必要である

前コース（この場合は1コース目）ではグレード2の悪心がありました。

抗がん剤治療情報提供書の利用③

⑤その他 医学・薬学的管理上必要な事項

グレード2の嘔吐が1日あったため、本日眠前から制吐剤としてオランザピン5mg錠が追加されています。眠気が出る事があります。

前コースでの有害事象（副作用）を考慮し、
医師が対応した内容等が記載されます。

医学・薬学的管理上必要な事項に記載した実例

- 吐き気⇒オランザピンの使用（乳腺：EC）
- 便秘⇒センノシド、酸化マグネシウムの使用（乳腺：EC）
- ジーラスタ後疼痛⇒カロナール、ロキソニンの使用（乳腺：EC）
- 下痢⇒ロペラミドの使用（乳腺：パージェタ+ハーセプチン+DOC）
- 発疹⇒ロコイド軟膏の使用（乳腺：パージェタ+ハーセプチン+DOC）
- ジーラスタ使用⇒腰痛、微熱（血液：RCHOP）
- 手足の痺れ⇒タリージェの使用（婦人：TC）
- 貧血⇒鉄剤の使用（婦人：TC）
- 手足症候群⇒マイザー軟膏の使用（婦人：ドキシル）
- 口腔粘膜炎⇒キシロカインアズノールうがい液の使用（婦人：ドキシル）

薬局における対人業務の評価の充実 ②

がん患者に対する薬局での薬学的管理等の評価

- 薬局が患者のレジメン(治療内容)等を把握した上で必要な服薬指導を行い、次回の診療時までの患者の状況を確認し、その結果を医療機関に情報提供した場合について新たな評価を行う。

(新) 薬剤服用歴管理指導料 特定薬剤管理指導加算2 100点(月1回まで)

[対象患者]

連携充実加算を届け出ている保険医療機関で抗悪性腫瘍剤を注射された患者であって、当該保険薬局で抗悪性腫瘍剤や制吐剤等の支持療法に係る薬剤の調剤を受ける患者

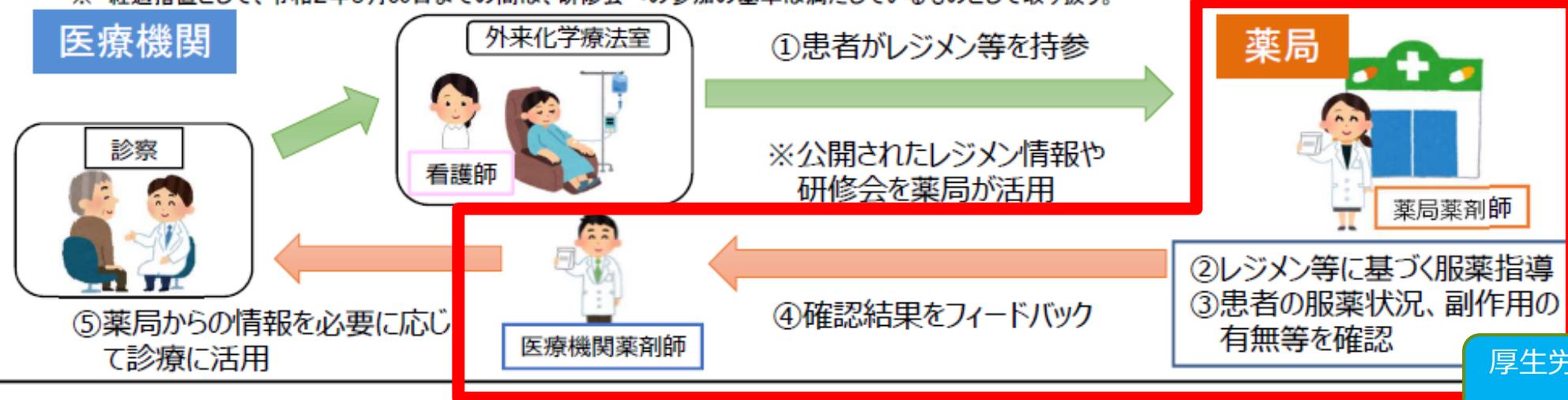
[算定要件]

①レジメン(治療内容)等を確認し、必要な薬学的管理及び指導を行うとともに、②電話等により、抗悪性腫瘍剤及び制吐剤等の支持療法に係る薬剤に関し、服用状況や副作用の有無等を患者等に確認し、③その結果を踏まえ、当該保険医療機関に必要な情報を文書により提供した場合に算定する。

[施設基準]

- (1) パーテーション等で区切られた独立したカウンターを有するなど、患者のプライバシーに配慮していること。
- (2) 保険医療機関が実施する抗悪性腫瘍剤の化学療法に係る研修会に年1回以上参加していること。

※ 経過措置として、令和2年9月30日までの間は、研修会への参加の基準は満たしているものとして取り扱う。



当院へのフィードバックの方法

FAX番号 048-852-1157 さいたま赤十字病院 薬剤部

院外処方せんに関する患者情報提供書 (薬剤師一処方医)

患者の薬に関する情報です。

次回の受診日前までに、この用紙を担当医に連絡する。

または、該当患者上の電子カルテ上に保管して下さい。

さいたま赤十字病院 診療科名 _____ 宛

薬局名 (所在地) _____ TEL・FAX _____

依頼薬剤師名 _____

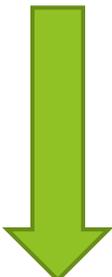
下記の事項に該当する箇所に印をつける。

- | | |
|--|---------------------------------|
| <input type="radio"/> 電話による疑義照会済の事項 | <input type="radio"/> 後発医薬品への変更 |
| <input type="radio"/> 疑義照会簡素化の合意書による事項 | <input type="radio"/> 残薬確認状況 |
| <input type="radio"/> 抗がん剤治療情報提供書の関連事項 | <input type="radio"/> その他 |

『抗がん剤治療情報提供書の関連事項』にチェックをお願いします。

当院のレジメ447個ありますが...

勉強するのは大変だな...



外来では実施出来ないレジメ等もあるので
全てのレジメを理解する必要はありません。



これから外来でよく実施されている
レジメを紹介します。

レジメ登録No 000-050

レジメ登録No 051-100

レジメ登録No 101-150

レジメ登録No 151-200

レジメ登録No 201-250

レジメ登録No 251-300

レジメ登録No 300-350

レジメ登録No 351-400

レジメ登録No 401-450



2019年の外来ケモ件数（1位から10位）

- ① 皮下ベルケイド〈多発性骨髄腫〉（レジメ登録No 337-2） 547件
- ② 3Wハーセプチン〈乳腺〉（レジメ登録No 000-2） 430件
- ③ EC〈乳腺〉（レジメ登録No 033-3） 342件
- ④ キイトルーダ〈肺〉（レジメ登録No 365） 257件
- ⑤ パーージェタ+ハーセプチン〈乳腺〉（レジメ登録No 304-9） 248件
- ⑥ XELOX〈大腸〉（レジメ登録No 213-1） 232件
- ⑦ DOC〈乳腺〉（レジメ登録No 034-1） 226件
- ⑧ アブラキサン+ゲムシタビン〈膵臓〉（レジメ登録No 318-1） 223件
- ⑨ アバスチン+タキソール〈乳腺〉（レジメ登録No 261） 211件
- ⑩ Wタキソール+3Wハーセプチン〈乳腺〉（レジメ登録No 35-3） 198件

乳腺外科の
レジメが
多いです。

2019年の外来ケモ件数（11位から20位）

- ⑪ オプジーボ〈肺〉（レジメ登録No 335） 188件
- ⑫ mFOLFOX6+アバスチン〈大腸〉（レジメ登録No 278-2） 141件
- ⑬ **カドサイラ〈乳腺〉（レジメ登録No 309） 124件**
- ⑭ サイラムザ+タキソール〈胃〉（レジメ登録No 328） 121件
- ⑮ ゲムシタビン+シスプラチン〈胆道〉（レジメ登録No 271-1） 115件
- ⑯ 皮下アザシチジン〈骨髄異形成症候群〉（レジメ登録No 339-1） 113件
- ⑰ mFOLFOX6〈大腸〉（レジメ登録No 278-1） 108件
- ⑱ **パージェタ+ハーセプチン+DOC〈乳腺〉（レジメ登録No 295-2） 100件**
- ⑳ SOX〈胃〉（レジメ登録No 319） 86件

抗がん剤治療情報提供書の患者は？

* 下記①②の中で院外処方せんがある患者を対象としています。

① 外来でレジメン変更して1コース目の患者

ex. 乳腺外科EC⇒DOC、HP + DOC⇒EC等

外来で初回指導しています

外来で初回指導しています

② (入院して1コース目を導入して) 外来で2コース目の患者

実際に抗がん剤治療情報提供書を作成したレジメは？

- ①EC 〈乳腺〉 7件
- ②パージェタ+ハーセプチン+DOC 〈乳腺〉 5件
- ③TC 〈婦人〉 3件
- ④XELOX 〈大腸〉 2件
- ④DOC 〈乳腺〉 2件
- ④RCHOP 〈血液〉 2件
- ⑦W-TXL 〈乳腺〉 1件
- ⑦SOX 〈胃〉 1件
- ⑦ドキシル 〈婦人〉 1件
- ⑦ABVD 〈血液〉 1件

計25件

★乳腺外科のレジメが多い
★2019年と比べて婦人科が増えています

指導時に使用している冊子等

抗がん剤治療を
受けられる方へ
【EC療法】



さいたま赤十字病院

抗がん剤治療を
受けられる方へ

【パージェタ+ハーセプチン+ドセタキセル療法】



さいたま赤十字病院

メーカー作成の
パンフレットも
使用しています

1カ月間連携充実加算を始めて

- ▶ 患者は1コース目終了して自分の有害事象がどの程度であったかを振り返る事が出来ている。
- ▶ 抗がん剤治療情報提供書を利用して2コース目以降の有害事象発生時のセルフケアの向上（院外薬局の先生方と協働して）

番地5
048-852-1111 (代)

開門時間
午前8時 (受付開始8:20)
※5月15日は創立記念日のため
休診

面会時間
月～金曜日：13:00～20:00
土/日/祝祭日：10:00～20:00
※但し、ICU・HCU・救急病
棟、CCU、NICU、GCU病棟
は、治療の為以下の面会時間と
なります。

[面会時間詳細](#)

 この病院について

 フロアマップ

 病院での注意事項

 交通のご案内

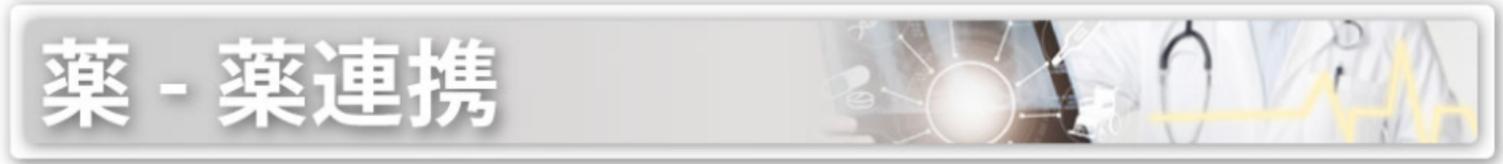
 病児保育室

 相談窓口について



患者さん・ご家族の方へ		医療関係者の方へ	
▶ 受診のご案内	▶ 診療科のご案内	▶ 地域医療連携	▶ 採用情報
▶ 入院・お見舞いのご案内	▶ 外来診療	▶ 薬・薬連携	▶ 臨床研修 (初期・後期)
▶ 健診・人間ドックのご案内	▶ セミナーのお知らせ	▶ 治験・臨床試験	▶ 各部門のご案内





疑義照会（トレーシングレポート）について

[さいたま市薬剤師会との院外処方せんの疑義照会の運用に関して](#)
[院外調剤薬局の方々へ](#)

服薬指導・薬学的管理に関する事

[抗がん剤治療情報提供書を受け取られた院外調剤薬局の方々へ](#)
[『さいたま赤十字病院 薬剤管理セミナー』を受け取られた院外調剤薬局ならびに医療機関の方々へ](#)
[吸入指導チェック用\(お薬手帳用\)](#)

処方せん・調剤に関する事

薬品採用に関する事

サポート薬局との連絡会に

抗がん剤治療情報提供書を受け取られた院外調剤薬局の方々へ

当院ではがん薬物療法における患者の安全性を高めるため、院外調剤薬局との連携（情報共有）をしております。患者から『抗がん剤治療情報提供書』を提示された場合には、記載された〈レジメ登録No〉と〈レジメ名〉を基に当院ホームページより実施しているレジメ情報を参照してください。尚、ホームページに掲載されたレジメ情報の投与量、投与スケジュール、支持療法等は患者の状態により変更する場合があります。また『抗がん剤治療情報提供書』にはレジメの実施状況や前コースでの有害事象や医学・薬学的管理上必要な事項も記載しておりますので、服薬指導や薬学的管理にお役立てください。

患者より現コースでの服薬状況や有害事象（副作用）等の情報が得られた場合は、『院外処方せんに関する患者情報提供書』にその内容を記載し、FAXにて薬剤部まで送信してください。院外調剤薬局からフィードバックされた情報は、当院薬剤師から主治医にその情報を伝え、次回の診療に反映出来るようにします。主治医と協議し対応した内容は院外調剤薬局に電話にてフィードバックします。

尚、当院では連携充実加算を算定しています。

FAX送付先 048-852-1157
本件に関する質問 048-852-1111（内線20064） 平日8:30-17:00
院外処方せんに関する患者情報提供書 [PDF版](#) / [WORD版](#)

当院薬剤師は『抗がん剤治療情報提供書』を作成し患者に手渡す

